



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月23日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ボルテージ

コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横田 晃洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部管轄

(氏名) 松永 浩

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	7,875	5.7	224	△52.4	248	△49.8	91	△55.1
26年6月期第3四半期	7,451	8.6	471	169.7	495	145.8	204	187.4

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 129百万円 (△37.3%) 26年6月期第3四半期 205百万円 (121.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	17.91	17.68
26年6月期第3四半期	40.30	39.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第3四半期	4,757	3,631	76.0
26年6月期	5,031	3,586	70.8

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 3,616百万円 26年6月期 3,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	19.00	19.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年6月期の配当予想は未定としております。

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	4.1	200	△67.5	200	△69.0	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期3Q	5,138,067 株	26年6月期	5,115,967 株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	228 株	26年6月期	228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期3Q	5,127,106 株	26年6月期3Q	5,074,533 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調がつづくなかで、企業収益は改善の動きがみられました。また、個人消費は、消費者マインドに弱さがみられるなかで、底堅い動きとなっております。

モバイルビジネスを取り巻く環境は、スマートフォン契約比率(注1)は、平成26年12月に構成比52.3%となっております(注2)。モバイルゲーム市場については、成長率の鈍化はみられるものの、OS系PF(注3)向けのアプリを中心に今後も拡大していく見通しとなっております。

このような環境の下、当社グループは、「恋愛と戦いのドラマ」をひたむきに追求しつづけるとともに、当期は、中期目標を達成すべく、恋愛ドラマアプリのノウハウを米国・サスペンスアプリへ展開し、市場を拡大していくことで、さらなる収益拡大に努めています。

売上は、日本語市場において、恋愛ドラマアプリのF2P(注4)は、前年同期比でソーシャル専用PF(注5)向けが減少しましたが、OS系PF向けが増加し、計画通りとなりました。P2P(注6)は、前年同期比でOS系PF向けが増加しましたが、キャリア公式PF(注7)向けがPF環境の変化に伴い減少し、計画を若干下回りました。また、サスペンスアプリは、前年同期比で大幅に増加しましたが、計画を下回りました。英語市場においては、L10N(注8)タイトルが順調に増加しました。US REAL(注9)は新規タイトルのリリース遅延等により減少しました。全体としては、前年同期比で増加し、計画通りとなりました。

費用は、OS系PF向け売上の増加による販売手数料の増加、増員による人件費の増加、OS系タイトルの増加等に伴う制作外注費の増加、東京ゲームショウ出展等による支払手数料の増加等があり前年同期比では増加しました。広告宣伝費については、テレビCMを出稿しましたが、モバイル広告投下の回収基準を厳格化する等、効率的に使用し、前年同期比で減少しました。

利益は、前年同期比で減少しましたが、計画比で大幅に増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,875,426千円(前年同期比5.7%増)、営業利益224,476千円(前年同期比52.4%減)、経常利益248,912千円(前年同期比49.8%減)、四半期純利益91,814千円(前年同期比55.1%減)となりました。

当第3四半期会計期間の主な取り組みは、以下の通りであります。

(日本語市場)

・恋愛ドラマアプリ (F2P)

既存タイトル「天下統一恋の乱 Love Ballad」「ルームシェア素顔のカレ Love Days」が好調に推移しました。集客は、平成27年1月に出稿した「ルームシェア素顔のカレ Love Days」のテレビCMにおいて、目標の10か月回収(注10)を達成する見込みであります。

・恋愛ドラマアプリ (P2P)

新規タイトル「大人の初恋、はじめます」等が順調に立ち上がりました。既存タイトルは「上司と秘密の2LDK」「特別捜査★密着24時」等が順調に推移しました。集客は、平成27年1月に出稿した「上司と秘密の2LDK」のテレビCMにおいて、目標の10か月回収を達成する見込みであります。

・サスペンスアプリ

既存タイトル「新・生存率0%! 地下鉄からの脱出」「ゴシップライター ~消えたアイドルを救え!~」において、女性キャラ攻略ストーリー形式の新しいイベントを実施し、課金率及びARPPUが向上しました。集客は、現在制作進行中の3アプリ目の配信後、KPI測定を行い、広告再開を判断します。

(英語市場)

L10Nタイトルにおいては、新規タイトル「Sleepless Cinderella: PARTY (注11)」「Star-Crossed Myth (注12)」「Scandal in the Spotlight (注13)」が好調に立ち上がりました。既存タイトルは「My Forged Wedding: PARTY (注14)」「Kissed by the Baddest Bidder (注15)」等が順調に推移しました。SFスタジオにおいては、US REAL既存タイトル「Queen's Gambit」のKPI向上を図るとともに、初の試みとなるUS REAL F2P新規タイトル、DRAGON新規タイトルの制作に取り組みました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、4,757,201千円（前連結会計年度末比274,719千円減）となりました。

流動資産は、3,574,741千円（前連結会計年度末比548,579千円減）となりました。その主な要因は、現金及び預金が519,434千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、1,182,459千円（前連結会計年度末比273,859千円増）となりました。その主な要因は、無形固定資産が139,440千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、1,125,386千円（前連結会計年度末比320,408千円減）となりました。

流動負債は、1,125,386千円（前連結会計年度末比320,408千円減）となりました。その主な要因は、未払法人税等が307,559千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、3,631,814千円（前連結会計年度末比45,688千円増）となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定が34,981千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年度6月期第4四半期も、下期の3つの目的「サスペンスアプリのKPI向上」「日本語版恋愛ドラマアプリの売上規模拡大」「英語版恋愛ドラマアプリの6タイプ模索」を推進してまいります。

具体的には、以下の取り組みを行います。

1. サスペンスアプリのKPIを向上させる

[商品] コンセプトを見直した3アプリ目の8月投入に向けて制作進行
(クオリティを重視し、投入時期を2か月後ろ倒し)

[販売] KPIが向上するまで広告停止

(課金率・ARPPUに加え、継続率・インストール率等が向上するまで)

2. 日本語版恋愛ドラマアプリの売上規模を一段と拡大させる

[商品]

- ・0S系初のF2P専用舞台で新規アプリを5月投入予定
- ・初のF2PからP2Pへ展開する新規アプリを7月投入予定
- ・よりドラマアプリの世界観を楽しめる演出の強化

[販売]

- ・「天下統一恋の乱 Love Ballad」全国CM展開
- ・広告投下の回収基準を厳格化
- ・事業提携の検討及び実施

3. 英語版恋愛ドラマアプリの6タイプ模索と路線の絞り込みを行う

- ①L10N F2P：8月新規投入に向け制作進行
- ②L10N P2P：4Qに2アプリを新規投入予定
- ③DRAGON（注16）F2P：P2Pの結果を見つつ検討
- ④DRGON P2P：7月新規投入に向け制作進行
- ⑤US REAL F2P：7月新規投入に向け制作進行
- ⑥US REAL P2P：4月に「Queen's Gambit」のAndroid展開を実施済

(注)

1. スマートフォン契約比率：スマートフォンとフィーチャーフォンを合わせた端末総契約数に占めるスマートフォンの割合
2. 出所：株式会社MM総研「2014年国内携帯電話端末出荷概況」2015年2月3日発表
3. OS系PF：App Store、Google Play等のアプリマーケット
4. F2P：Free-to-Playの略称。基本プレイ無料・アイテム課金制のコンテンツ
5. ソーシャル専門PF：GREE、Mobage、mixi、Ameba等のSNS PF
6. P2P：Pay-to-Playの略称。ストーリー単位の個別課金制のコンテンツ
7. キャリア公式PF：NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルが運営するサイト
8. L10N：北米市場向けアニメ絵であり、日本語恋アプを翻訳したコンテンツ。Localizationを意味する省略表記
9. US REAL：北米市場向けリアル絵のコンテンツ(旧：USオリジナル)
10. CM10か月回収：CMに投下した広告宣伝費を10か月の売上を上回ること
11. 邦題：「眠らぬ街のシンデレラ」
12. 邦題：「恋してしまった星の王子」
13. 邦題：「偽りの君とスキヤンダル」
14. 邦題：「誓いのキスは突然に」
15. 邦題：「スイートルームで悪戯なキス」
16. DRAGON：北米市場向けアニメ絵であり、北米市場向けに作ったコンテンツ。北米向けにアレンジされたドラゴンロール寿司に由来

以上により、平成27年6月期の連結業績予想は、平成27年1月22日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した内容から変更なく、売上高10,500百万円（前連結会計年度比4.1%増）、営業利益200百万円（同67.5%減）、経常利益200百万円（同69.0%減）、当期純利益0百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,201,178	1,681,743
売掛金	1,836,738	1,740,116
前払費用	41,394	63,015
繰延税金資産	39,610	74,337
その他	8,504	17,135
貸倒引当金	△4,105	△1,605
流動資産合計	4,123,321	3,574,741
固定資産		
有形固定資産	241,465	306,317
無形固定資産	364,650	504,091
投資その他の資産	302,483	372,050
固定資産合計	908,599	1,182,459
資産合計	5,031,921	4,757,201
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,799	156,013
未払金	20,935	10,658
未払費用	794,761	734,119
未払法人税等	307,559	-
賞与引当金	-	107,839
その他	166,739	116,755
流動負債合計	1,445,794	1,125,386
負債合計	1,445,794	1,125,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	908,660	919,475
資本剰余金	874,260	885,075
利益剰余金	1,762,594	1,757,210
自己株式	△196	△196
株主資本合計	3,545,319	3,561,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△794	1,548
為替換算調整勘定	18,224	53,205
その他の包括利益累計額合計	17,429	54,754
新株予約権	23,377	15,495
純資産合計	3,586,126	3,631,814
負債純資産合計	5,031,921	4,757,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	7,451,823	7,875,426
売上原価	2,454,683	2,859,199
売上総利益	4,997,140	5,016,226
販売費及び一般管理費	4,525,261	4,791,750
営業利益	471,878	224,476
営業外収益		
受取利息	565	605
受取配当金	3	60
為替差益	22,699	18,985
雑収入	873	4,834
営業外収益合計	24,142	24,485
営業外費用		
雑損失	32	50
営業外費用合計	32	50
経常利益	495,989	248,912
特別損失		
固定資産除却損	5,800	-
特別損失合計	5,800	-
税金等調整前四半期純利益	490,188	248,912
法人税、住民税及び事業税	359,415	187,388
法人税等調整額	△73,722	△30,290
法人税等合計	285,692	157,097
少数株主損益調整前四半期純利益	204,496	91,814
四半期純利益	204,496	91,814

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	204,496	91,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△893	2,343
為替換算調整勘定	2,267	34,981
その他の包括利益合計	1,373	37,324
四半期包括利益	205,870	129,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,870	129,139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。